

平成28年度 協働推進員等研修 アンケートまとめ

- 平成28年8月24日 13:00～16:00 島根県民会館2階多目的ホール
- 講師: 特定非営利活動法人ふくおかNPOセンター代表 古賀 桃子 氏
- アドバイザー: 島根大学法文学部准教授 毎熊 浩一 氏
- 回答者数 39 名 (県職員29名・市町村職員7名・その他2名) / 出席者数 52 名
- 主な意見

・分かりやすかった。
・協働事例をもっと知りたい。
・NPOも研修に参加してほしい。(NPOの意見を聞きたい)
・具体的な協働のしかたを教えてほしい。

【問1】 満足度。百点中何点？

点	人
100～91	5
90～81	6
80～71	16
70～61	6
60～51	0
50～41	1
40	1
無記入	1

平均	82 点
----	------

【問2】 満足度を高めるための改善点

講義・事例・ワークとも充実して面白かったです。
・協働の背景、目的、推進方向についてもう少し詳しく説明してほしい。事例紹介を聞きたい。
NPOと協働を進めるうえで、どんな風に困難を解決していったのか、成功事例をもっと聞きたいと思いました。
知識として、成功事例の数を増やしてほしいです。
一般的な話で進んだので、もう少し具体的な話になると良かった。
時間の都合もありますが、グループワークをもう少ししたかったです。
・「協働とは何か？」というテーマはかなり広まっているので研修では不要。 ・人的、予算的制約が強まる中で、協働はとても負担が大きいというイメージがある。このイメージを取り除くような「プチ協働」のような事例を知りたい。 (例)県庁受付にある「しまねっこ人形」は県民の方からプレゼント。 ・大きな事業＝協働ではないと思います！ちょっとした協働の積み重ねがいろんな効果を生むと思います。
事例の共有
協働推進員の役割がよく分かっていなかったなので、入口論として推進員に期待する役割と位置づけを研修に入れてもらえると良いと思います。
・もう少しグループで話す時間があればよかった。 ・NPOの人と今回のことについてグループ討議してみたい。

時間に追われることなく、いい時間配分と作業量でした。もう少し意見交換時間が長いといい。
・実践の具体的な内容、事例E市民(NPO側)から行政への意見、要望等。
協働を進める意識づくりには役立つと思ったが、実際の取組にすぐ向かえるきっかけまでには直結するか、といった点。
研修内容としては十分だったと思う。△10点は、自分の現在の業務において、協働の手法が採れそうなものが思い浮かばなかったため。
協働する時、NPO推進室に相談すればいいのでしょうか？
NPO法人自身の意見も聞きたかった。
県職員だけでなく、市町村職員に向けた研修をお願いしたい。
話題提供②がもう少し事例が多いといいと思いました。
「協働」とは何か、不勉強であったため、説明してもらえると良かった。
自分の勉強不足でしょうか・・・。 すぐに事業に活かすことはできませんが、これから活かしていきたいです。
NPOとの協働の実践者から、NPOの事を知らない方まで幅広い。 NPOの事を知らない、誤解している方へのレクチャーも必要。
グループ内での話し合いの時間を増やしてほしい。また、グループ討議を活性化させる仕掛けがあればと思います。
実際にNPOの中で活躍されている講師の方が、行政の内部もよくお分かりの上でお話をいただき分かりやすかったです。 私は行政の経験が短いため、県の担当者の経験談は行政職員の方と外部組織との関わりの難しさが分かり参考になりました。
私は仕事でNPOの方々と一緒にすることはなかったですが、同じグループの中には経験豊富な方が多くいらっやあって、知っている事、知らない事の差が多かったです。 まず、NPOとは何かというところから分からない部分もありました。(あまりイメージが湧かない部分もありました)
自分がどう動くべきか、もっと具体的な話が聞きたい。
協働事業の事例をもう少し多く、長く聞きたいと思いました。
・付箋を貼った時のGごとのやり方が指示されていたらスムーズだったかも？ ・各自の取組例、お悩みなどざっくばらんに聞けたらなお良かったかも。(一般論だけでなく)
ありがとうございました
もっとNPOの方の本音を聞いてみたかったです。複数のNPO実践者の方の声を聞ければ・・・。
意見交換タイムが意外と盛り上がっていない。グループへのもう一つフォローが欲しかった。
NPOとの協働研修。
・NPO側の意見を聞いてみたい。 ・事例発表の1件はNPOでも良いのでは。 ・協働が失敗した事例の紹介もヒントがあるのではないかな。
意見交換よりも、話題提供の時間をもっと設けてほしかった。

【問3】 希望する研修メニューなど意見・感想

満足度100%ですが、もし可能であればシリーズ研修にして、近い分野ごとにやれば話が具体的にできて楽しそうです。
どんなNPOがあるか情報が欲しいです。
協働できる事業はどれか知りたい。
NPOの人から見た協働について聞いてみたい。
NPOの状況、取組事例紹介(不安の解消となるような)。
私は協働推進員ですが、協働について、今回のような研修を受けたこともなく、「協働って??」というレベルでした。なので、年に1回は研修会を開催した方がいいと思う。また、行政側だけの研修でなく、今日話にあった「企業」や「市民」も一緒に研修した方がいいと思います。
定期的に行ってほしい。
県に協働推進員という方がいらっしゃるのを初めて知りました。講師の古賀先生のお話は興味深かったです。ありがとうございました。
グループワークがKJ法だったので取り組みやすかったです。
NPOと仕事する機会は当面ないが、企業や団体、出先機関と仕事する際の参考になる。
福岡の事例も知りたいです。
上記の事を踏まえ、入門講座をやってはどうか。
このメニューを若年層向けの階層別研修に取り入れてはいかがでしょうか。また単独で自治研の研修メニューにしても良いかと思えます。
県内のNPOの方で実際に行政との協働をされている人のお話も聞いてみたいです。
今後NPOとの協働は仕事上ないかもしれませんが、仕事の他の部分にも活かせる”考え方”を学ばせて頂けたような気がします。知らない事も多くあり、勉強になりました。
無知な所から、わかりやすい研修でよかったです。職員や市町村の方の話が聞け、勉強になりました。ありがとうございます。
・他市町村にも呼びかけ頂いたのは良かったです。市町村職員も研修扱いに。(できれば) ・市町村の協働セクションとの共催！！
協働は手段である。という言葉が印象的でした。
頑張ってください。
民間団体との協働の事例は、業務上様々な形があるが、当初決定した役割分担が、活動長期に及んだ場合、行政におもねる傾向が強くなるのが気になり。活動に対してメリットを受ける人が存在する限り活動を継続せざるを得ない。協働が壊れた場合の対応が難しい。 2講師の掛け合いの構成はグッド。